



兵教組は、平和運動を次世代に継承するために、平和フォーラム加盟組織・地方組織とともに、青年部が「5・15沖縄平和行進」に参加した。

沖縄をはじめ南西諸島では現在「台湾有事」を名目に自衛隊が米軍の盾となるミサイル配備・増強が着々とすすめられている。日米合同演習も増えてきており、住民は、根拠のない危機感を煽られ、避難訓練を強要されている。また、昨年11月のオスプレイ墜落事故以来、アメリカ軍は3月8日

沖縄が日本に復帰して52年を迎える中、改めて沖縄の内実を知り、県民とともに米軍基地の縮小・撤去決定をもとめていく必要がある。兵教組は、平和運動を次世代に継承するために、平和フォーラム加盟組織・地方組織とともに、青年部が「5・15沖縄平和行進」に参加した。

沖縄が日本に復帰して52年を迎える中、改めて沖縄の内実を知り、県民とともに米軍基地の縮小・撤去決定をもとめていく必要がある。兵教組は、平和運動を次世代に継承するために、平和フォーラム加盟組織・地方組織とともに、青年部が「5・15沖縄平和行進」に参加した。

ピース・アクション2024 5・15沖縄平和行進



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合
代表者 戸山 卓香
編集人 森福 也織
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2024/6・15

No.2095

・兵教組教育文化・社会貢献事業協賛
金贊同のお願い

これからの沖縄のために



石原大地さん

石原大地さん

地に脅かされる現状から、

ぐ努力をしていたとしていることに気づかされた。まさに平和を取り戻せるように、この基地問題は一人ひとりがむき合っていかないといけない課題だと再確認できることことができた。自分にできることは、微々たるものだが、今回の経験を周りの人たちに発信し、基地問題へ関心を高められるよう努めたい。

くら技術が発達し再発を防ぐこと、いつ、どこに墜落するかわからない恐怖・不安感と隣り合わせの生活は、決して平和とは言えないだろう。「世界で一番危険な基

地に脅かされる現状から、

1日でも早く、少しでも日常に平和を取り戻せるよう

に、この基地問題は一人ひとりがむき合っていかないといけない課題だと再確認

しき、事実を知る必要性を感じた。

今回このような経験をし、より沖縄の歴史に関心をもつた。沖縄のことについて、とりわけ戦争の歴史や基地移転問題など、配信される情報や報道内容について、より注意深く聞くことであつたことを実感した。

久保田悠生さん

久保田悠生さん

飛行停止解除を受けて普天間基地での飛行を再開し、自衛隊においても飛行の再開を予定している。こ

れまでも事故が多い危険なオスプレイの飛行再開は、地域住民の命を蔑ろにして

いる行為であり、飛行停止だけでなく、配備撤回も止めいく必要がある。

沖縄が日本に復帰して52年を迎える中、改めて沖縄の内実を知り、県民とともに米軍基地の縮小・撤去決定をもとめていく必要がある。

沖縄の問題は日本の問題

沖縄の問題を沖縄だけ

として考えてほしい「今回

の沖縄平和行動で胸に深く

刺さった言葉だ。

今年の平和行進は普天間

基地を南北にわかれてい

る町と同じように、

学校があり、商店があり、

歩いても続く道のり。町の

きく違うのは基地があると

いうことである。歩いても

なくすためには多くの

基地があると

恥ずかしく思つた。

一刻も早く沖縄から基地

をなくすためには多くの

基地があると

「兵庫県教職員組合 教育文化・社会貢献事業」の充実、発展にむけて 皆さんのご支援、ご協力をお願いします

主におこなっている事業

- ①兵庫県内の公立小中学校、義務教育学校、中等教育学校および特別支援学校（養護学校）等に在学する児童生徒に対する支援
- ②教職員の教育力量を高めるための研究助成
- ③県民の教育および文化の向上と教育改革県民運動発展に対する助成
- ④県内の福祉団体等への助成
- ⑤その他、目的を達成するために必要な事業

「協賛金」は1口500円からです。

事業への賛同を！

手当受給者
主幹教諭 … 1か月につき、5口2,500円以上

一般教職員等 … 1か月につき、1口500円以上

一時金による任意の協賛

引き続き、
皆様のご理解とご協力をお願いします。
※詳しくは各地域組合書記局へお問い合わせください。

「教育文化・社会貢献事業」とは？

経済的に厳しい生活環境にある児童生徒への就学支援をおこない、かつ県内の教育研究を助成するとともに、教育および文化の発展に寄与し、フィランソロフィー（社会貢献）の理念の普及、県民福祉の向上をはかるものです。

協賛金
賛同者募集！

3,200人を超える教職員をはじめとする「協賛金」賛同者カンパ等の協力により、2023年度も子どもたちへの就学支援等の社会貢献事業を実施することができます。このとりくみは、多くの教育関係者をはじめとする県民のみなさんのご理解・ご協力を得て、事業が継続されています。43年めを迎えるこの事業の趣旨およびこれまでの経緯をふまえ、今後も「教育文化・社会貢献事業」の充実と発展をめざしていきます。引き続き、フィランソロフィーの理念にもとづき、この事業に対するご理解と「協賛金」のとりくみにご協力をお願いします。

組合員をはじめ、すべての教育関係者の協力を！



2024年度におこなう事業の概要

教育文化事業

『ひょうご2024 こどもの詩と絵』

第45集を発刊予定。

昨年度は、応募（詩607編、絵1,772点）の中から、詩119編、絵1,03点が掲載された。3月2日ラッセルホールで表彰式・発刊集会を開催し、子ども、保護者等、約100人が参加した。



『こどもの詩と絵 第44集』より

社会貢献事業

車椅子支援事業



（公財）日本教育公務員弘済会兵庫支部、（二財）兵庫県学校厚生会、（株）Lasse Hallと共催し、車椅子を寄贈予定。昨年度は、2台を県内の子どもたちへ寄贈した。（通算559台）

児童養護施設等支援事業

（公財）日本教育公務員弘済会兵庫支部、（一財）兵庫県学校厚生会、（株）Lasse Hallと共催し、児童養護施設等に支援予定。昨年度は、次の施設へ支援をおこなった。



県内の小中学校、義務教育学校、中等教育学校および特別支援学校（養護学校）に在籍する小学校6年生、中学校3年生の要保護・準要保護家庭の子どもを対象に、就学助成品を届ける。昨年度は、28地域組合4,628人に物品を届けた。また、東日本大震災・熊本地震により兵庫県に避難している小・中学校の児童生徒3人に助成物品を届けた。

就学援助事業

地域組合の実態や賛同者の実態にもとづき、助成をおこなう。昨年度は、28地域組合に、総計7,176,009円を助成した。

● COCON子ども食堂
食事提供に必要なカセットコーンロ・カセットボンベの購入費等
（通算47施設）

● いながわ子供の家
子どもたちのくつろぎスペースに敷く、ホットカーペットの購入等
毎週土曜日に提供している食事の材料費補助
（施設使用料・材料費等）の補助



県民大学への助成
これまでひろく県民に開かれた大学として、兵庫における教育文化にかかる研究・啓発・創造活動をおこなってきた。今年度も地域組合教育研究集会での講演会共催などに対し、助成をおこなう。昨年度は、17地域組合に助成をおこなった。



地域組合教育研究助成